

交流会 フリーディスカッション 臨床現場での運動療法の実践と課題

小熊 祐子¹, 町田 征己², 井上 茂³, 深尾 宏祐⁴, 吉川 貴仁⁵,
太田 玉紀^{6,7}, 永富 良一⁸

(¹慶應義塾大学スポーツ医学研究センター, ²東京医科大学公衆衛生学分野, ³東京医科大学, ⁴順天堂大学, ⁵大阪公立大学,
⁶猫山宮尾病院, ⁷メディカルフィットネスCUOREセンター, ⁸東北大学)

日本体力医学会医師部会（以下、医師部会）は、医師の資格を持つ会員、および本会の活動に関心を持つ関連分野の方々を対象とし、各自の専門分野と体力医学との連携を深め、その発展と課題解決に貢献することを目的として、2025年度に新たに設立されました。

本集いは、医師部会設立後、初の公式な集まりとなります。まず、世話人の紹介を行い、続いて世話人より医師部会設立の経緯を説明します。その後、参加者全員で今後の活動内容についてグループワーク形式で討議します。具体的には、『次年度以降の学術総会における医師部会企画』や、広く『医師部会に期待すること』などに

ついて、参加者からの自由な意見交換を行う予定です。

本集いは、参加者、特に若手医師にとっては、自身の専門分野と体力医学との接点を見出し、今後のキャリアを考える上で貴重な機会となるはずです。また、世代や専門分野を超えた医師間の新たなネットワーク構築の場となることも期待されます。このグループワークでの議論は、今後の医師部会の活動方針を決定する上で重要な基盤となると考えています。

多くの医師会員、特に今後の体力医学を担う若手医師の積極的な参加を期待しています。

健康運動指導士部会 2026年度交流会

ー語ろう！健康運動指導士ー

三本木 温¹，街 勝 憲²，小澤多賀子³，宮本 瑠美⁴，植村 望⁵，
片山昭彦⁶，齋藤義信⁷，大槻 毅⁸，小林美優⁹，岡田真平¹⁰，
平田昂大¹¹，平岩明也¹²，田川 要¹³，川端良介¹⁴

(¹八戸学院大学，²国立がん研究センター，³駒沢女子大学，⁴東海大学，⁵八戸工業高等専門学校，⁶四国学院大学，⁷日本体育大学，
⁸流通経済大学，⁹立命館大学，¹⁰身体教育医学研究所，¹¹九州共立大学，¹²麗澤中学・高等学校，¹³宮崎公立大学，¹⁴弘前大学)

1. 目的

健康運動指導士がキャリア形成やスキル向上を図るため、気軽に情報交換や学びの場を提供することを目的とする。特に以下の点に重点を置く。

- 活動地域や所属組織等を越えた健康運動指導士間の交流を促進。
- 健康運動指導士としての専門性を活かし、選ばれる・頼られるための戦略、地域での活動や新たな市場へのアプローチ方法を議論。
- 知識やスキルの標準化と、継続的な学習の具体的な方法を検討。
- 医療保健福祉系国家資格やAT（アスレティックトレーナー）、日本体力医学会健康科学アドバイザーなど、他専門職との連携を強化するための議論。
- エビデンスに基づいた指導方法の普及や研究者との共同研究の可能性を探る。

2. 参加者の対象範囲

- 学会参加者全体
- 健康運動指導士以外でも活動に興味のある方
- 健康運動指導士等の資格取得希望者

3. プログラム内容（予定）

※プログラム中はファシリテーターによる進行とする。

- ①部会長による挨拶
- ②アクティビティの実施（タバタ式トレーニングを実施予定）
- ③グループディスカッション
養成大学における困りごと、健康運動指導士の活躍事例などの情報共有、今後の希望などリアルタイムでの共有を目的としてGoogle Formsを活用したリアルタイムアンケートを実施予定
- ④グループごとの発表（話した内容の共有）
- ⑤ネットワーキング・フリートーク
- ⑥アンケート実施

Google Formsを活用して感想や次回テーマに関するアンケートを実施予定

4. 参加申込方法

- 事前申し込み制とする。
- 席に余裕があれば、当日申込も可能とする（会場定員100名程度を想定）。

理学療法士部会交流会「越境から共創へ：理学療法につながりが未来を拓く」

松尾真吾¹，藤田直人²，本田寛人³，中村みづき⁴，高田拓明⁵，
岩本えりか⁶，田島敬之⁷

(¹日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科，²広島大学，³四條畷学園大学，⁴関西福祉科学大学，
⁵東北大学，⁶札幌医科大学，⁷東京都立大学)

昨年度，日本体力医学会公認の理学療法士部会が設立され，「キックオフ交流会 ～専門領域の垣根を越えて～」を開催いたしました。本交流会には研究・臨床・教育など多様な領域で活動する理学療法士が集い，専門や所属を越えた交流を通じて新たなネットワーク形成の契機となりました。また，参加者アンケートでは交流機会に対する高い評価が得られる一方で，共同研究の創出や継続的な活動への期待も寄せられました。

これらの成果と課題を踏まえ，本年度は「越境から共創へ：理学療法につながりが未来を拓く」をテーマに交流会を開催いたします。本企画では，参加者によるピッチトークを通じて研究内容や活動を共有した後，研究領域や研究対象の近い参加者同士によるグループ交流を実施いたします。さらに，「理学療法士部会として今後取り組みたいこと」をテーマに意見交換を行い，部会活動

の発展や新たな共同企画・共同研究の可能性について議論する予定です。昨年度の「出会う場」から一歩進み，参加者同士が具体的な連携や協働の可能性を模索する場となることを目指しています。

本部会は，体力科学と理学療法学をつなぐ学術交流のプラットフォームとして，研究者・臨床家・教育者が専門領域や所属の枠を越えて協働する機会の創出を目指しています。異なる視点や方法論を持つ参加者同士の対話は，新たな研究課題の発見や共同研究の創出，基礎研究と臨床実践の融合につながることを期待されます。本交流会を契機として，理学療法士部会が継続的な学術コミュニティとして発展するとともに，体力医学分野における理学療法士の新たな価値創出につながることを期待しています。専門や所属を越えた新たな出会いと共創の機会として，多くの皆様のご参加をお待ちしております。

JSPO-AT 部会キックオフ交流会

～体力医学分野における「知」の共有が生み出す学術的交流～

可西泰修¹、竹上綾香²、大屋研志朗³、筒井俊春⁴、成相美紀⁵、
大垣 亮⁶、西田 智⁷、小笠原一生⁸

(¹中京大学, ²立教大学, ³スポーツ健康医療専門学校, ⁴早稲田大学, ⁵京都先端科学大学,
⁶帝京平成大学, ⁷流通経済大学, ⁸大阪大学大学院)

このたび、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)による学術的交流と連携の場として、日本体力医学会公認の「JSPO-AT 部会」が設立されました。本部会は、日本体力医学会に所属するJSPO-AT有資格者、ならびに本部会の活動に関心を持つ方々を対象に、学術的基盤に基づく交流機会を創出し、学会内外における連携および研究活動の発展に寄与することを目的としております。

具体的には、学会員間の学術的交流の促進に加え、体力医学分野における科学的知見と実践的知見の統合・発展への貢献を目指して活動してまいります。その第一歩として、このたび「JSPO-AT 部会キックオフ交流会」を開催する運びとなりました。本交流会では、本部会の設立趣旨および今後の活動方針を学会員の皆様に広く共有するとともに、部会内外におけるネットワーク形成や、新たな学術的・実践的連携のきっかけづくりにつなげていきたいと考えております。

今回の交流会では、部会設立の経緯や活動計画の説明に加え、参加者同士によるグループディスカッションを予定しております。グループディスカッションでは、以下の本部会の基本方針に基づき、世代や活動現場の垣根を越えた自由な意見交換を行う予定です。

1. JSPO-AT 部会に参加する部会員の学術的交流の促進
2. 体力医学分野における科学的知見と実践的知見の統合・発展への貢献
3. 部会および関連領域の持続的発展に資するネットワーク形成

「JSPO-ATが日本体力医学会に参加し、学術的知見を広げることの意義」や「体力医学分野におけるJSPO-ATの貢献可能性」などをテーマに議論を深め、より多くのJSPO-ATが体力医学会へ参加するきっかけづくりを模索していきたいと考えております。また、体力医学分野の知見とJSPO-ATとしての実践活動を、今後どのように有機的かつ発展的に融合していくことができるかについても、参加者の皆さんと一緒に検討していきたいと思っております。

ぜひ、それぞれの活動先で感じている課題や日頃の実践で得られた経験などを気軽に共有し、科学的知見へと発展させるための第一歩としてみませんか。世話人一同、本交流会が、体力医学分野に関心を持ち学会に参加されているJSPO-ATの皆様にとって、学術的知見を深め、共通の関心や志を持つ参加者との出会いと交流の機会となり、JSPO-ATの発展に資するネットワーク形成の場となることを期待しております。

JSPO-AT資格の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。学生、教員、スポーツ現場で活動されている方はもちろん、現在現場に携わっていない方や、トレーナー領域に関心を持ち始めた方も大歓迎です。立場や経験を問わず、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第2回 若手ランチ交流会 —分野を越えてつながる，研究仲間の昼休み—

鳥取伸彬¹，花野宏美²，宮本瑠美³，清水伸子⁴，大石 寛⁵，益城優芽^{6,7}，
平田昂大⁸，川間羅聖⁹，桑水隆多¹⁰

(¹兵庫教育大学，²同志社大学，³東海大学，⁴国際武道大学，⁵佐賀大学，⁶東京大学，⁷日本学術振興会，
⁸九州共立大学，⁹早稲田大学，¹⁰筑波大学)

日本体力医学会では，将来を担う若手会員が学会活動に魅力を見出し，日本体力医学会を“私たちの学会”として実感できる環境が整備されることが望まれてきた。その課題に応える形で，2025年2月に「日本体力医学会若手の会（若手の会）」が発足してから，はや1年半を迎えようとしている。若手の会は，領域や所属，世代を超えたつながりの創出を目指して活動を行っており，本交流会は，3つの柱を横断的に支える若手の会の中核的な企画である。昨年度のキックオフ（第1回）交流会では100名以上が参加し，約9割が「非常に満足」または「満足」と回答し，「新たな試みでとても楽しめた」，「5年後，10年後に共同研究できるといいなと，夢が膨らんだ」

等の声も寄せられた。

今年度は，昨年度の成果やフィードバック意見を基盤としながら，少人数（4人程度）のグループワークを取り入れるなど，さらなる充実を目指して第2回交流会を開催する。昨年同様，昼食を囲み積極的な対話が可能な企画を予定している。本交流会が，新たな出会いと学びのきっかけとなり，参加者一人ひとりにとって「また体力医学会に参加したい」と思える場となれば幸いである。なお，参加者同士が十分に交流できる環境を確保するため，参加は事前登録制（先着100名）を予定している。定員に達し次第受付を終了するため，参加を希望される方は早めにお申し込みいただきたい。